議案29件を審議・可決
3月町議会定例会報告

3月7日から21日までを会期に開かれた令和7年第1回町議会定例会では、条例の制定や、令和7年度当初予算など議案29件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項報告から

町総合計画の策定状況――

令和8年度を初年度とした次期総合計画の策定を進めています。策定にあたっては、まちづくり基本条例に基づき、町民の皆さん25人による「西会津町総合計画検討会議」を設置し、2月28日に第1回の会議を開催しました。

今後は町職員25人による「総合計画策定プロジェクトチーム」と連携を図りながら、11月を目標に計画案を策定していきます。

都市・農山漁村の地域連携による子供農山漁村交流推進支援事業――

冬の農山漁村体験事業として、昨年3月に本町と包括連携協定を締結した学校法人角川ドワンゴ学園を通じて、N高等学校、S高等学校、N中等部の生徒15人が体験交流事業に参加しました。

本事業は、1月17日から20日の日程で奥川地区にて「雪国の秘境で暮らしの達人を目指す3泊4日in西会津～生きると生かされるを知ろう～」と題して行われました。

雪国での生活を知らない生徒の皆さんが、かんじきウォークや縄ない体験、歳の神など、地域住民との交流や自然体験活動を通じて、地域の伝統文化に触れる貴重な体験をしました。本年、夏以降に予定しているZEN大学生の受入れに活かし、地域の活性化と持続的発展に取り組んでいきます。

マイナンバーカードの健康保険証利用――

国の法改正に伴い昨年12月2日から現行の保険証の発行が終了し、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行されました。

なお、現在の保険証は有効期限の範囲内で使用可能です。また、従来の保険証と同様に使用できる資格確認書でも医療機関を受診することができますが、マイナンバーカードの保険証利用により正確なデータに基づいた診察や、より適切な処方を受けることができることから、町ではマイナンバーカードの保険証利用を円滑に進めるため、的確な情報発信に努めていきます。

ふるさと応援寄附金事業――

令和7年3月4日現在の寄付受入件数は8770件、金額は2億8689万4200円となり、昨年度と比較して件数は1196件の減、寄付金額は寄付単価の増加により4480万7738円の増となっています。県内の自治体の中では寄付金の受入金額は上位に位置しています。

寄付金の使途については、子育て支援や教育、農業支援、健康づくりなど、町の重要施策の推進に有効に活用していきます。

西会津産米などの販売促進活動――

昨年11月23日、24日に沖縄県宮古島市で開催された産業まつりに、また、本年1月25日、26日に開催された沖縄県大宜味村の産業まつりに出展し、西会津産米や菌床シイタケなどの町の特産品の販売およびPR活動を行ってきました。試食を通して来場者に西会津産米などのおいしさをPRすることができました。

町では、今後も米、ミネラル野菜、菌床キノコを3本柱に、町内産農林産物を幅広くPRし、販売の拡大に努めていきます。

鳥獣被害の防止対策――

3月5日現在の有害鳥獣の捕獲件数は、ツキノワグマが24頭、ニホンザルは43頭、イノシシは107頭を捕獲し、前年の同時期と比べ、ツキノワグマが58頭の減、ニホンザルは6頭の減、イノシシは45頭の増と、ツキノワグマが大幅に減少した一方、イノシシが大幅に増加しています。今後も引き続き加害個体の捕獲を行い、被害防止に努めていきます。

可決された主な議案

◆町移住定住促進住宅の設置および管理に関する条例の制定＝町内への移住または定住を希望する人への住環境を整備し、町への移住定住を促進することを目的とした新たな条例を制定

◆ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正＝児童扶養手当法及び児童扶養手当法施行令が施行されたことに伴う所要の改正

◆町都市公園条例の一部改正＝さゆり公園、フィールドアスレチック施設管理棟の利用料の新設、水泳プール等の利用料の見直しに伴う所要の改正

◆町温泉健康保養センター条例の一部改正＝宿泊料の上限額などについての見直しに伴う所要の改正

◆町森林活用交流促進施設条例の一部改正＝オートキャンプ場管理棟の利用料の新設などに伴う所要の改正

◆町水道事業および下水道事業の設置等に関する条例の一部改正＝町内にある1つの上水道と7つの簡易水道を廃止し、給水区域を簡易水道とする認可を新たに受けたことから、会計名称を「簡易水道等事業会計」とすることに伴う所要の改正

◆令和6年度補正予算（一般会計、後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計）＝各会計において、補助事業などの事業費確定や既定予算の最終的な整理、また今冬の除排雪経費の増額を行う補正

◆令和7年度一般会計予算＝総額65億7300万円（対前年度比1億7800万円、2・8㌽の増）

◆町過疎地域持続的発展計画の変更＝町総合計画・実施計画の調整や令和7年度当初予算編成に合わせた変更

◆令和7年度一般会計補正予算（第1次）＝農業用施設災害復旧事業費などを増額

新たに9人の教職員が着任
令和7年度教職員着任式

令和7年度教職員着任式が4月1日、町役場で行われました。式では、着任した教職員の紹介が行われ、西会津小学校に着任した佐藤祐介教頭（右写真）が代表してあいさつしました。

なお、令和6年度の離任および令和7年度の着任教職員は以下のとおりです。（敬称略）

◆令和6年度離任教職員

学校名	氏名	新任校
西会津小学校	奥　仁（じん）	県教育庁義務教育課
	泉　光祐	退職
	岩澤　美咲	会津若松市立日新小学校
	木戸　桜和（さわ）	柳津町立西山小学校
	小澤　秀太（しゅうた）	退職
	長谷川敏行（非常勤講師）	退職
	田中　英人（ひでと）（非常勤講師）	退職
西会津中学校	折笠　和弘	退職
	佐瀬　大地	会津若松市立若松第五中学校
	塩川　健二	会津坂下町立坂下中学校
	石井　弘（ひろむ）	会津若松市立大戸中学校
	荒井　泉（非常勤講師）	退職

◆令和7年度着任教職員

学校名	氏名	前任校
西会津小学校	佐藤　祐介	会津若松市立鶴城小学校
	眞部　弘之	会津若松市立行仁小学校
	佐藤　美咲	二本松市立小浜小学校
	野村　紗都（さと）	新採用
西会津中学校	山本　義城（よしき）	会津美里町立本郷学園小学校
	佐藤　幸枝	喜多方市立会北中学校
	佐藤　雅之	会津若松市立若松第五中学校
	田崎　和哉	新採用
	曽根　実咲（非常勤講師）	新採用

令和７年度の町役場の体制

町職員の人事異動および新採用職員の紹介

町は、４月１日付けで、人事異動を発令しました。
詳しくは、以下のとおりです。

氏名	(新)	(旧)
石川　和典	建設水道課長	建設水道課主幹
長谷沼充伸	生涯学習課長 兼 公民館長 兼 歴史文化基本構想推進室長	総務課主幹 兼 総務係長
鈴木　利博	農林振興課主幹 兼 林政係長	農林振興課主幹［農業委員会・土地改良区担当］
黒澤　将幸	農林振興課主幹［土地改良区担当］	建設水道課長補佐 兼 上下水道係長
小林　和洋	総務課長補佐 兼 総務広報係長	総務課長補佐 兼 行政管理係長
武藤　洋一	企画情報課長補佐［デジタル戦略室担当］	企画情報課長補佐［デジタル戦略室担当］ 兼 広報公聴係長
齋藤　淳	企画情報課長補佐［未来デザイン室担当］	企画情報課長補佐 兼 企画政策係長
佐藤　泰久	町民税務課長補佐 兼 町民生活係長［防災担当］	農林振興課長補佐 兼 農政係長
三留　昭生	健康増進課長補佐	福祉介護課長補佐 兼 子育て支援センター所長 兼 こゆりこども園副園長
橋谷田和弘	商工観光課長補佐 兼 商工観光係長	健康増進課長補佐 兼 健康支援係長
外島　拓	商工観光課長補佐 兼 ふるさとプロモーション係長	商工観光課長補佐 兼 地域振興係長
薄　清久	農林振興課長補佐 兼 農政係長	学校教育課長補佐 兼 給食センター所長 兼 学校支援係長
物永　毅	学校教育課長補佐 兼 給食センター所長 兼 学校支援係長	町民税務課長補佐 兼 町民生活係長
小柴　郁子	福祉介護課長補佐 兼 子育て支援センター所長 兼 こゆりこども園副園長	福祉介護課子育て支援係長
佐藤　広悦	建設水道課参与［役職定年］	建設水道課長
飯嶋　竜太	企画情報課西会津のある暮らし相談室長	商工観光課西会津のある暮らし相談室長
倉橋　直美	福祉介護課子育て支援係長	福祉介護課付保健師長にしあいづ福祉会派遣
物永　葉子	健康増進課さすけねぇ輪けんこう係長	健康増進課主任専門管理栄養士
二木美津子	健康増進課保健係長	健康増進課保健師係長
五十嵐国幸	建設水道課上下水道係長	商工観光課商工観光係長
石川　皓也	総務課主査	健康増進課主査
青津　京介	企画情報課主査	商工観光課主査
佐藤　実菜	福祉介護課付主任保健師にしあいづ福祉会派遣	健康増進課主任保健師
品川　貴斗	議会事務局主査	議会事務局主査
大崎　友梨	建設水道課主査	学校教育課主査
古川　祐樹	農林振興課主査	商工観光課副主査

◆新採用職員を紹介

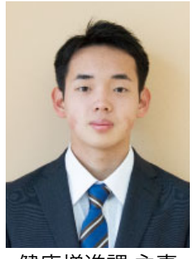
今年度、西会津町職員となった4人に意気込みを聞きました。

町民税務課 主事
佐藤　ひとみ

町民の皆さんに信頼される職員となれるよう努力していきます。
どうぞよろしくお願いします。

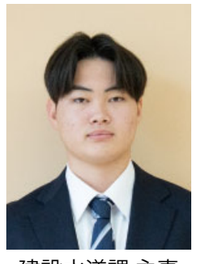
町民税務課主事 兼 出納室
佐藤　淳子（じゅんこ）

西会津町職員としての自覚と責任を持ち、町民の皆さんから信頼していただけるよう精一杯努力してまいります。
よろしくお願いいたします。



健康増進課 主事
磯田　芳之祐（よしのすけ）

町民の皆さんに信頼され住みやすい町にしていけるように精一杯頑張ります。



建設水道課 主事
長谷川　夢樹（ゆずき）

生まれ育った西会津町で働けることに感謝し、町民の皆さんに信頼されるように、町の発展に貢献できるように精一杯頑張ります。

［退職者］令和7年3月31日付

矢部喜代栄	生涯学習課長 兼 公民館長 兼 歴史文化基本構想推進室長
長谷川浩一	農林振興課参与
齋藤　善行	農林振興課林政係長
伊藤　悠花	企画情報課主事
雅樂川由梨	建設水道課主事
伊藤　徳裕	総務課副主査
土田　健斗	総務課付副主査福島県実務研修生派遣
目黒　拓	企画情報課副主査
秦　渉吾	企画情報課副主査
五十嵐共生	商工観光課副主査
石本　貴寛	農林振興課副主査
三瓶　拓也	町民税務課副主査
植木　大翔	商工観光課副主査
神田　陽萌	総務課主事
紫藤　大地	福祉介護課主事
鈴木　郭夢	福祉介護課主事
齋藤　渓	農林振興課主事
貝沼　翔子	学校教育課主事
佐藤ひとみ	町民税務課主事
佐藤　淳子	町民税務課主事 兼 出納室
磯田芳之祐	健康増進課主事
長谷川夢樹	建設水道課主事
新田　新也	商工観光課付参与（株）西会津町振興公社派遣
石川藤一郎	企画情報課付参与（一社）西会津ケーブルネット派遣
渡部　峰明	農林振興課付参与（一財）西会津町農業公社派遣
長谷川浩一	農林振興課参与
荒井恵美子	国保西会津診療所主任看護師 兼 国保群岡診療所主任看護師
矢部　正子	国保西会津診療所主任准看護師 兼 国保群岡診療所主任准看護師

矢部喜代栄	生涯学習課長 兼 公民館長 兼 歴史文化基本構想推進室長
長谷川浩一	農林振興課参与
齋藤　善行	農林振興課林政係長
伊藤　悠花	企画情報課主事
雅樂川由梨	建設水道課主事
伊藤　徳裕	総務課副主査
土田　健斗	総務課付副主査福島県実務研修生派遣
目黒　拓	企画情報課副主査
秦　渉吾	企画情報課副主査
五十嵐共生	商工観光課副主査
石本　貴寛	農林振興課副主査
三瓶　拓也	町民税務課副主査
植木　大翔	商工観光課副主査
神田　陽萌	総務課主事
紫藤　大地	福祉介護課主事
鈴木　郭夢	福祉介護課主事
齋藤　渓	農林振興課主事
貝沼　翔子	学校教育課主事
佐藤ひとみ	町民税務課主事
佐藤　淳子	町民税務課主事 兼 出納室
磯田芳之祐	健康増進課主事
長谷川夢樹	建設水道課主事
新田　新也	商工観光課付参与（株）西会津町振興公社派遣
石川藤一郎	企画情報課付参与（一社）西会津ケーブルネット派遣
渡部　峰明	農林振興課付参与（一財）西会津町農業公社派遣
長谷川浩一	農林振興課参与
荒井恵美子	国保西会津診療所主任看護師 兼 国保群岡診療所主任看護師
矢部　正子	国保西会津診療所主任准看護師 兼 国保群岡診療所主任准看護師

矢部喜代栄	生涯学習課長 兼 公民館長 兼 歴史文化基本構想推進室長
長谷川浩一	農林振興課参与
齋藤　善行	農林振興課林政係長
伊藤　悠花	企画情報課主事
雅樂川由梨	建設水道課主事
伊藤　徳裕	総務課副主査
土田　健斗	総務課付副主査福島県実務研修生派遣
目黒　拓	企画情報課副主査
秦　渉吾	企画情報課副主査
五十嵐共生	商工観光課副主査
石本　貴寛	農林振興課副主査
三瓶　拓也	町民税務課副主査
植木　大翔	商工観光課副主査
神田　陽萌	総務課主事
紫藤　大地	福祉介護課主事
鈴木　郭夢	福祉介護課主事
齋藤　渓	農林振興課主事
貝沼　翔子	学校教育課主事
佐藤ひとみ	町民税務課主事
佐藤　淳子	町民税務課主事 兼 出納室
磯田芳之祐	健康増進課主事
長谷川夢樹	建設水道課主事
新田　新也	商工観光課付参与（株）西会津町振興公社派遣
石川藤一郎	企画情報課付参与（一社）西会津ケーブルネット派遣
渡部　峰明	農林振興課付参与（一財）西会津町農業公社派遣
長谷川浩一	農林振興課参与
荒井恵美子	国保西会津診療所主任看護師 兼 国保群岡診療所主任看護師
矢部　正子	国保西会津診療所主任准看護師 兼 国保群岡診療所主任准看護師

新たに７人の隊員が着任

地域おこし協力隊新隊員を紹介

４月１日付で、採用となった新隊員のみなさんです。

佐々木　和代
【集落支援 担当】

小松　慎吾
【集落支援 担当】

廣田　旬紀（しゅんき）
【集落支援 担当】

本多　宏成（こうせい）
【ケーブルテレビ番組制作 担当】

那須　寛人
【農業後継者 担当】

内田　浩紀（ひろき）
【有害鳥獣対策 担当】

力武（りきたけ）　未歩
【ジビエ利用 担当】

幼児教育・保育アドバイザー 学校教育アドバイザーを任命しました

町では、独自の教育政策・教育改革を推進するため、幼児教育・保育アドバイザーに伊藤博子さん、学校教育アドバイザーに玉木敏彦さんを任命しました。

両アドバイザーは、文部科学省のモデル地域の指定を受け開発しました「幼保小の架け橋プログラム」の実践を通して、こども園・西小・西中の円滑な接続や連携を図る中心的な役割を担います。

▲写真左から伊藤さん、玉木さん

農作物の凍霜害に注意しましょう

防霜対策本部を設置しました

町では、４月１日に農作物の凍霜害を未然に防ぐことを目的とした防霜対策本部を設置しました。設置期間は、同日から５月31日までです。今後は、霜注意報などの対策本部より出される情報に注意し農作物の適切な管理を行ってください。

〈問い合わせ先〉　農林振興課　農政係　☎４５－４５３１

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。